



村井 久純

金沢大学大学院先進予防医学研究科・  
システム生物学分野

睡眠時呼吸障害と自律神経系という重要なテーマの中で、まず我々の施設で施行できる筋交感神経活動を焦点にあてたいとお話をしたいと考えています。

筋交感神経活動測定は、40年前にヒトにおける交感神経活動のゴールドスタンダードとされていますが、その煩雑さ故に一般的には普及しませんでした。

今回、このシンポジウムにて、実際の筋交感神経活動の手技や評価法を紹介させていただいた上で、睡眠時呼吸障害との関連を考察していきたいと思っています。